

# 関西経済レポート（8月号）

- 6月の生産は減少も、半期では緩やかに上昇
- 円安効果により、7月輸出は5カ月連続の増加、輸入も7カ月連続で増加
- 消費者センチメントは13年上期の高水準から調整が続いている
- 6月の個人消費は気温上昇も影響し、持ち直し  
7月の住宅も、前月に引き続き好調を維持
- 7月の労働市場は引き続き改善傾向にある
- 6月の建設工事はプラス基調、7月の公共工事受注額も増加
- 中国7月の輸出は前月からプラスに転じ、工業生産回復の一要因

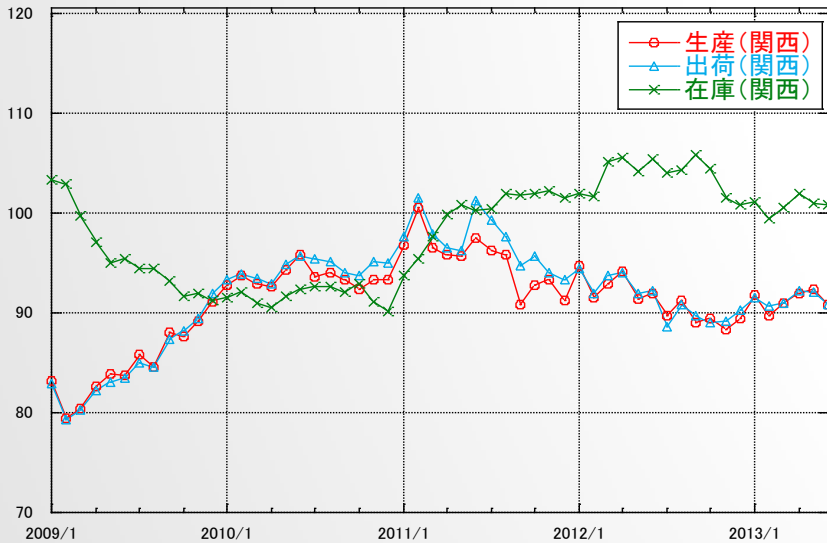
※「近畿」・「関西」は、滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山の2府4県。  
鋳工業生産、大型小売店販売額のみ、福井を含む2府5県。

## ～目次～

|           |   |
|-----------|---|
| 生産        | 1 |
| 輸出入       | 2 |
| 消費者センチメント | 3 |
| 個人消費・住宅   | 4 |
| 雇用        | 5 |
| 公共投資      | 6 |
| 中国経済動向①   | 7 |
| 中国経済動向②   | 8 |

# ～生産～

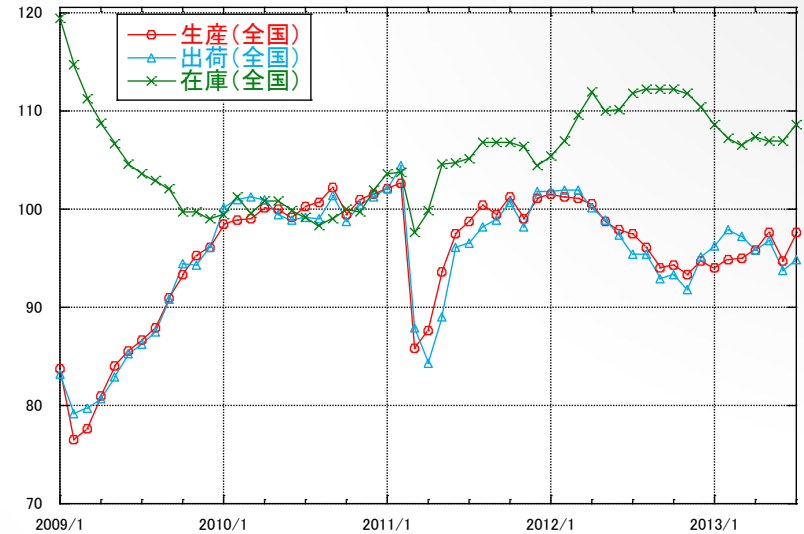
鉱工業指数の推移(近畿・2013年6月まで), 2005年=100



(データ出所: 「近畿経済の動向」、近畿経済産業局)

- 関西6月の鉱工業生産指数(確報値: 季節調整済)を見ると、生産は90.8で前月比-1.7%と4カ月ぶりの下落。出荷は90.8で同-1.4%、在庫は100.9で同-0.1%と、いずれも2カ月連続の下落となっている。
- 業種別にみると、化学(除. 医薬品)、情報通信機械、金属製品等が上昇した。一方、鉄鋼、電気機械、電子部品・デバイス等が低下した。
- 半期ベースでは、2013年前半の関西の生産(前期比+1.6%)は前期(同-3.2%)から回復してきている。全国も回復傾向にあるが(2013年上半期: 同-0.2%、12年下半期: 同-4.7%)、比較すると関西の伸びがより大きい。

鉱工業指数の推移(全国・2013年7月まで), 2010年=100



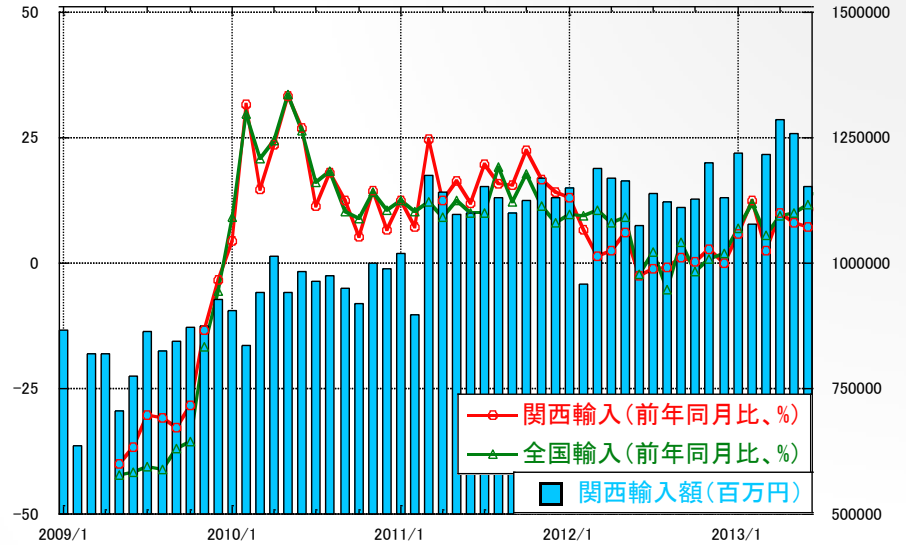
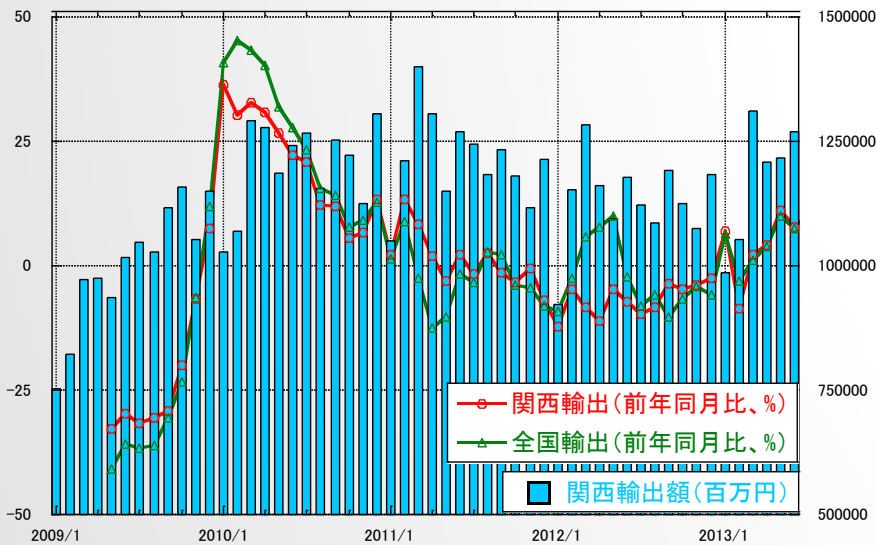
(データ出所: 「鉱工業指数」、経済産業省)

- 全国における7月の鉱工業生産指数(速報値、季節調整済)は97.7となり前月比+3.2%で2カ月ぶりの上昇となった。出荷も94.9で同+1.3%と2カ月ぶりの上昇、在庫は108.6で同+1.5%の上昇といずれも増加した。
- 業種別にみると、はん用・生産用・業務用機械工業、電子部品・デバイス工業、輸送機械工業等が上昇し、金属製品工業、繊維工業、鉄鋼業が低下した。
- 7月の生産は前月の生産予測調査結果の予測(前月比+6.5%)から下方修正となったものの、プラスを維持した。今月の予測調査によれば、8月の生産水準は上方修正(同-0.9%→同+0.2%)されており、9月もプラスの見込み(同+1.7%)となっており、緩やかな回復が期待される。

# ～輸出入～

輸出動向（右：輸出額、左：前年同月比）（2013年7月まで）

輸入動向（右：輸出額、左：前年同月比）（2013年7月まで）



（データ出所：「大阪税関貿易速報資料：近畿圏」（平成25年7月分（速報値））、大阪税関調査統計課）

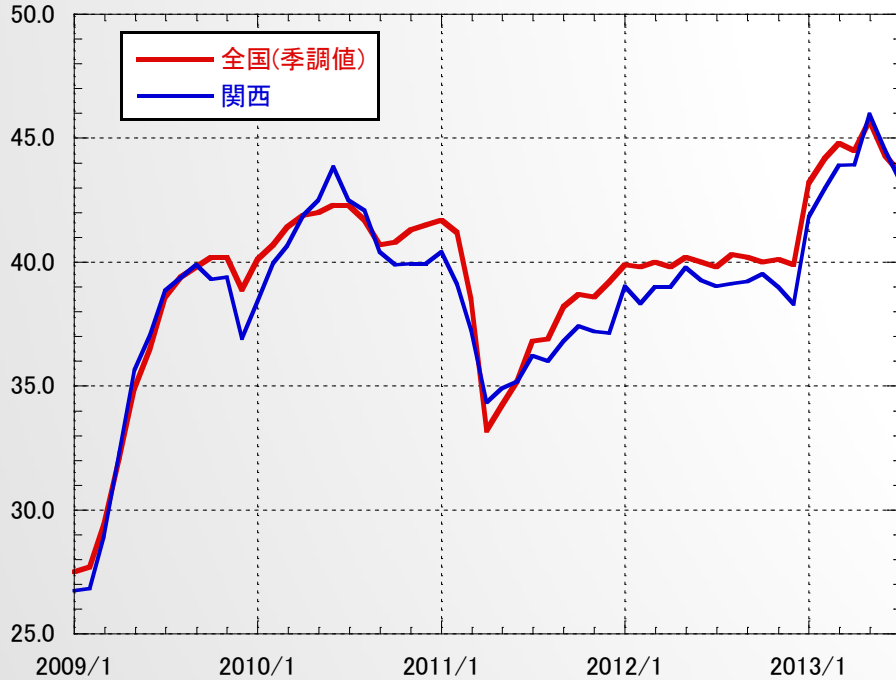
（データ出所：「財務省貿易統計」（平成25年7月分（速報値））、財務省）

- 関西における7月の輸出額（速報値）は1兆2,432億円、前年同月比+10.6%と5カ月連続の増加となった。
- 半導体等電子部品、鉄鋼、鉱物性燃料が大幅に増加。
- 全国の7月の輸出額（速報値）は5兆9,605億円、前年同月比+12.2%と5カ月連続の増加。円安の影響もあり、輸出は近畿、全国共に引き続き大幅に改善してきている。
- 関西の輸出を地域別にみると、アジア（前年同月比+11.7%、5カ月連続）、中国（同+9.8%、5カ月連続）、米国（同+8.3%、7カ月連続）、EU向け（同+4.9%、2カ月連続）輸出はいずれも増加。

- 関西における7月の輸入額（速報値）は1兆3,641億円、前年同月比+19.8%と7カ月連続の増加。
- 原油及び粗油、天然ガス及び製造ガス、衣類及び同付属品、が大幅に増加。
- 全国の7月の輸入額（速報値）は6兆9,860億円、前年同月比+19.6%と9カ月連続の増加。

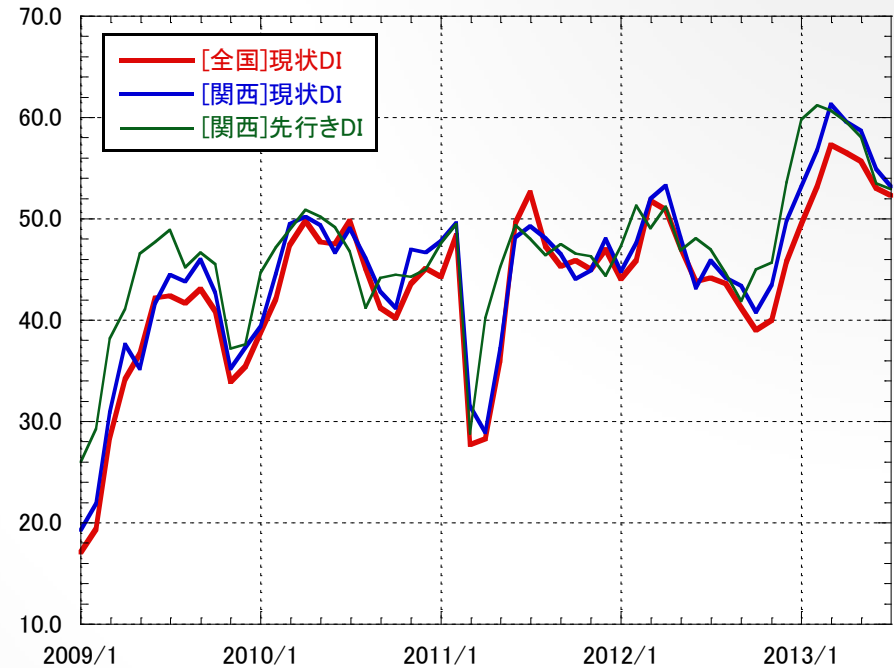
# ～消費者センチメント～

消費者態度指数(原数値、2013年7月まで)



(出所) 内閣府「消費動向調査」(平成25年8月9日公表)

景気ウォッチャー調査(2013年7月まで)



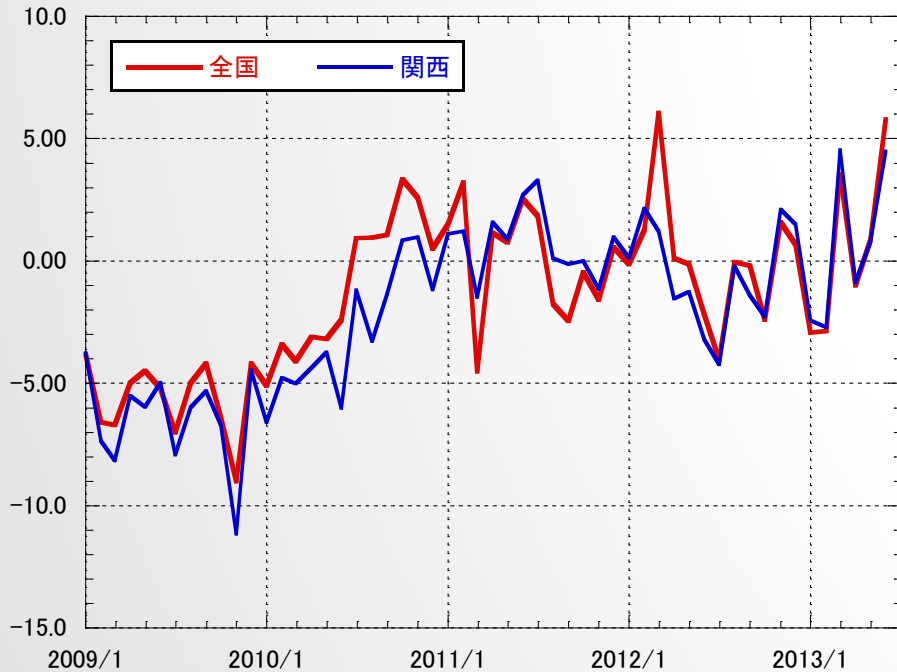
(出所) 内閣府(平成25年8月8日公表)

- 関西の7月の消費者態度指数(原数値)は前月比-1.2ポイント下落し43.3。2カ月連続のマイナス。
- 同指数の構成項目全てが前月から低下。「暮らし向き」が同-1.3ポイント、「収入の増え方」が同-0.9ポイント、「耐久消費財の買い時判断」が同-2.4ポイント、「雇用環境」が同-0.3ポイントと、いずれも2カ月連続で下落。
- 全国の消費者態度指数(季節調整値)は43.6と同-0.7ポイント下落(2カ月連続のマイナス)。
- 消費者態度指数は全国、関西とも2013年上期に記録した高水準から調整が続いている。

- 関西の7月の現状判断DIは前月比-1.7ポイントの53.2と、4カ月連続で低下。低下の理由として、6月に前倒しした百貨店のクリアランスセールの影響や、ガソリンや小麦など諸物価の上昇による客足鈍化などが考えられる。
- 全国の現状判断DIも同-0.7ポイント低下の52.3。4カ月連続で悪化。
- 関西の先行き判断DIは同-0.6ポイント低下の52.9。5カ月連続で悪化。諸物価の上昇が影響し、消費者マインドには改善がみられない。
- 全国の先行き判断DIは前月から横ばいの53.6。3カ月ぶりに下げ止まった。

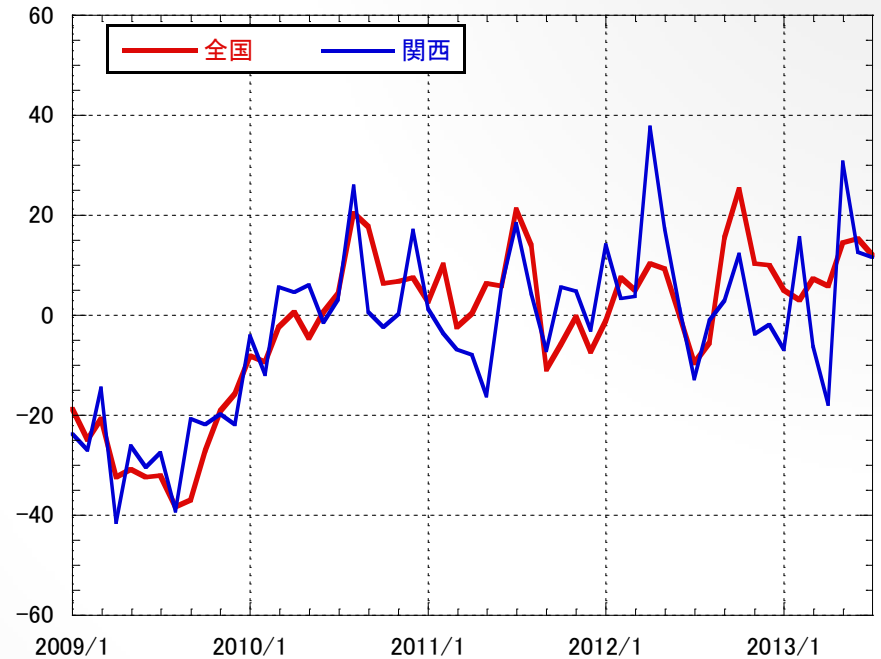
# ～個人消費・住宅～

大型小売店販売額（前年同月比：％、2013年6月まで）



(注) 福井県を含む。  
(出所) 近畿経済産業局(平成25年8月1日公表)

新設住宅着工(前年同月比：％、2013年7月まで)



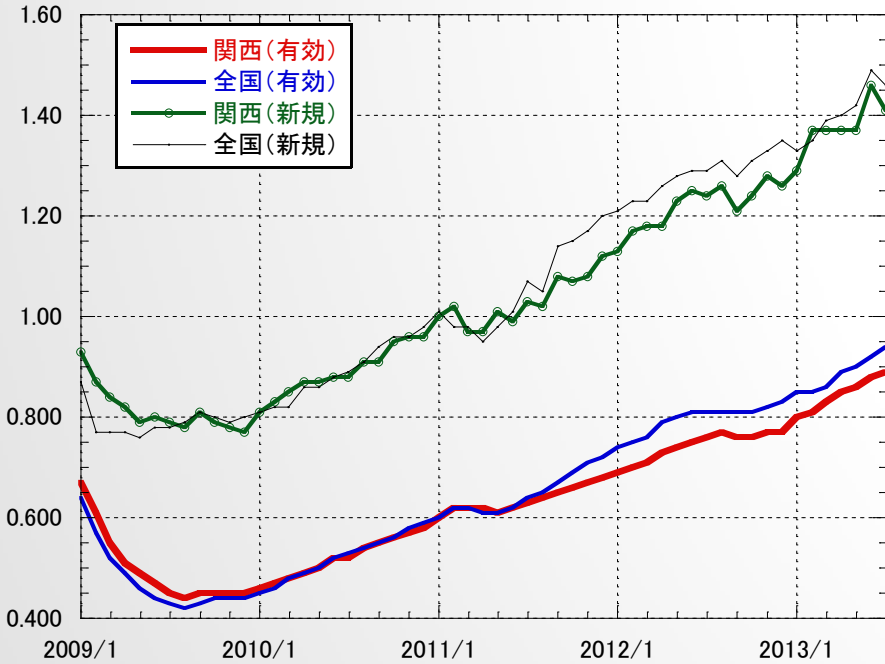
(出所)：国土交通省「住宅着工統計」(平成25年8月30日公表)

- ・ 関西の6月の大型小売店(百貨店＋スーパー)の販売額(全店ベース)は、前年同月比+4.5%と2カ月連続のプラス。
- ・ うち、百貨店は同+10.7%と8カ月連続のプラス。
- ・ 一部店舗の増床・リニューアル効果と、気温上昇やクリアランスセールの前倒しなどにより衣料品や夏物商品が好調だった(近畿経済産業局)。
- ・ なお全国の6月の大型小売店販売額(全店ベース)は同+4.5%。2カ月連続のプラス。なお7月は、同-0.3%微減し、3カ月ぶりのマイナスとなった。

- ・ 7月の新設住宅着工戸数は12,280戸。前年同月比+11.6%と3カ月連続で上昇。利用関係別にみると、貸家が同+21.3%と2カ月ぶりに上昇。分譲が同+6.4%と3カ月連続の上昇。持家は同+10.4%と6カ月連続の上昇。
- ・ 全国の新設住宅着工戸数は同+12.0%と11カ月連続で上昇。
- ・ 7月のマンション契約率(出所：不動産経済研究所「マンション市場動向」)は84.6%(季節調整値、APIR推計)。好不調の目安とされる70%を17カ月連続で上回る。
- ・ 消費増税による駆け込み需要・相続税制改正に伴う節税対策の増加から、住宅市場は好調を維持している。

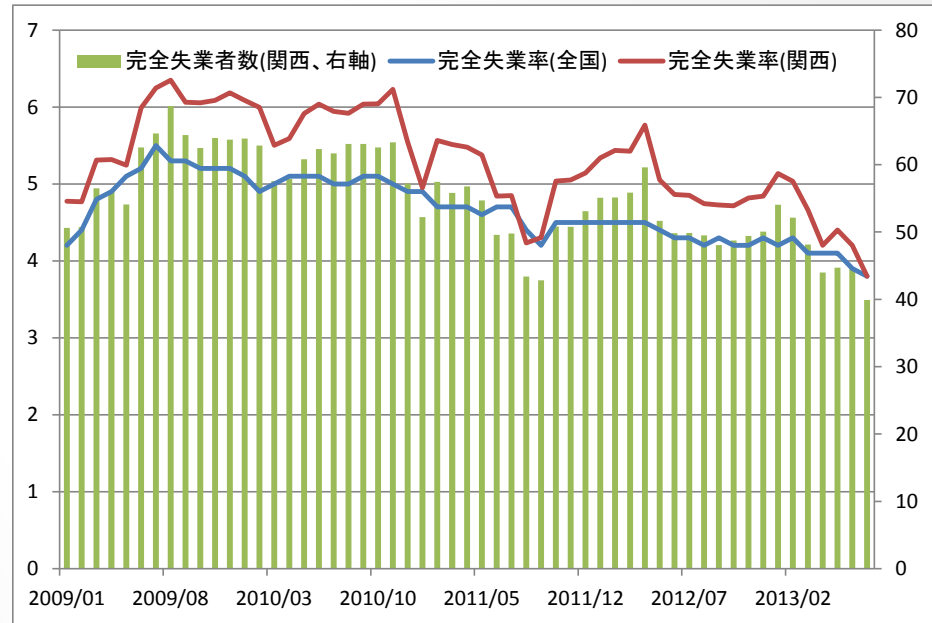
# ～雇用～

有効求人倍率の推移（季節調整値、2013年7月まで）



(出所) 厚生労働省

完全失業率の推移（季節調整値：%、2013年7月まで）



(出所) 総務省「労働調査」

## 地域別有効求人倍率2013年7月

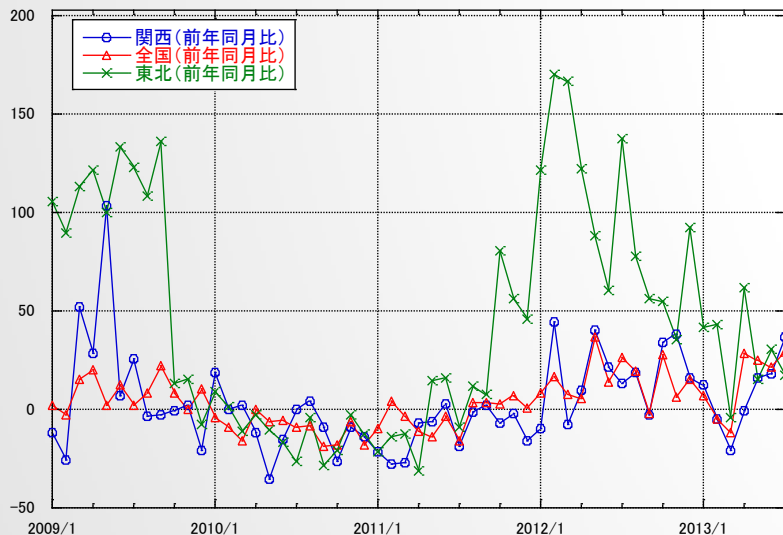
|    | 全国   | 北海道  | 東北   | 南関東  | 北関東  | 北陸   | 東海   | 近畿   | 中国   | 四国   | 九州   |
|----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 7月 | 0.94 | 0.77 | 1.00 | 0.96 | 0.88 | 1.08 | 1.14 | 0.89 | 1.06 | 1.01 | 0.77 |
| 6月 | 0.92 | 0.74 | 1.02 | 0.95 | 0.86 | 1.06 | 1.12 | 0.88 | 1.03 | 0.98 | 0.75 |

- 7月の関西の有効求人倍率は0.89倍、前月から0.01ポイント上昇。7カ月連続の改善となった。
- 全国は0.94倍で、同0.02ポイントの上昇。5カ月連続の改善となった。
- 7月の新規求人倍率は、全国1.46倍、関西1.41倍となり、いずれも前月(全国1.49倍、関西1.46倍)より小幅低下。

- 7月の関西の完全失業率（季節調整値：APIR推計）は3.8%となり、前月から0.4%ポイント低下し、4%台を切った。
- 7月の関西の完全失業者数(季節調整値：APIR推計)は39.9万人。前月から4.7万人の減少で、引き続き改善傾向。
- 7月の全国の完全失業率（季節調整値）は3.8%となり、2カ月連続の改善。

# ～公共投資～

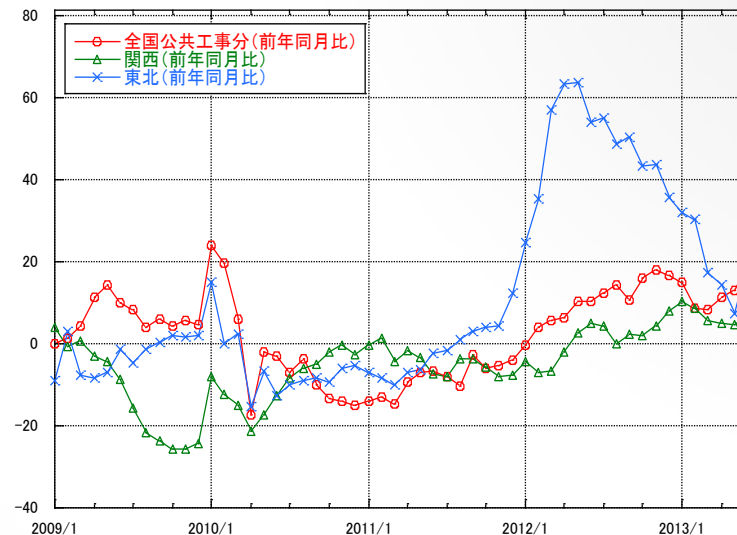
公共工事前払保証額(前年同月比:%、2013年7月まで)



(注) 福井県を含む。  
 (出所) 「公共工事前払保証統計」(平成25年7月分)、東日本建設業保証株式会社

- 関西7月の公共工事前払保証額は1,466億円。前年同月比+37.2%と3カ月連続のプラスとなり、この4カ月伸びは加速。
- 全国の公共工事前払保証額は1兆5,725億円、同+29.4%。
- 東北の公共工事前払保証額は2,885億円と同+17.2%。全国と共に4カ月連続のプラス。
- 季節調整値(APIR推計)で見ると、7月の保証額は関西、全国とも2カ月ぶりの前月比増加となった(関西：+5.3%、全国：+5.6%)。

建設工事(前年同月比:%、2013年6月まで)



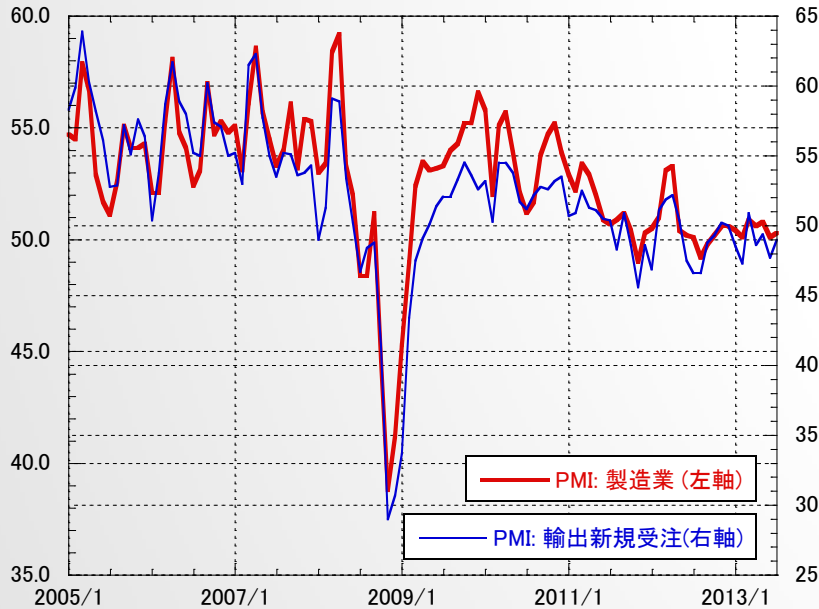
(出所) 国土交通省「建設総合統計」(平成25年6月分)

- 関西6月の建設工事(民間+公共)は4,436億円。前年同月比+7.2%と14カ月連続のプラス。
- 東北の建設工事は3,976億円と同+20.2%となった。23カ月連続のプラス。
- 同月の全国の建設工事(公共)は1兆2,895億円。同+19.3%と17カ月連続のプラスとなった。



# ～中国経済動向①～

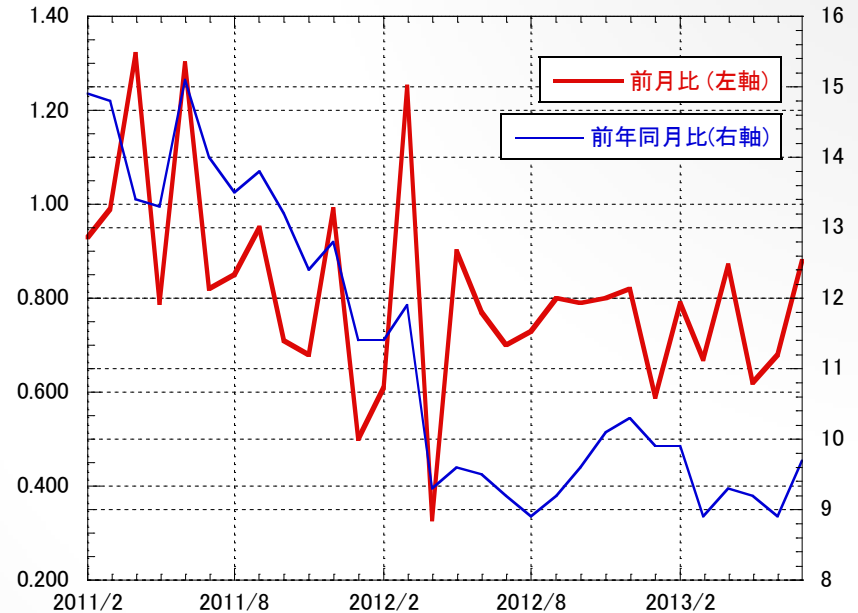
中国購買担当者景況指数(2013年7月まで：%)



出所：中国国家统计局; CEICデータベース

- 7月の製造業PMI(購買担当者景況指数: 季節調整値)は50.3となり、前月(50.1)よりやや上昇した。
- 生産指数と新規受注指数はそれぞれ52.4と50.6となり、いずれも前月(52.0, 50.4)より小幅上昇。
- 7月の輸出新規受注指数は49.0となり、前月(47.7)より回復したが、50を下回るレベルが続いている。

工業生産動向(2013年7月まで：%)



出所：中国国家统计局; CEICデータベース

- 7月の工業生産は前月比+0.9%となり、6月(同+0.7%)から幾分加速した。前年同月比でも、7月は+9.7%となり、6月(+8.9%)より上昇し、3カ月ぶりに加速した。
- 地域別でみると、東部は前年同月比+8.8%、中部は同+10.5%、西部は同+11.5%となり、中部と西部の成長が目立った。

# ～中国経済動向②～

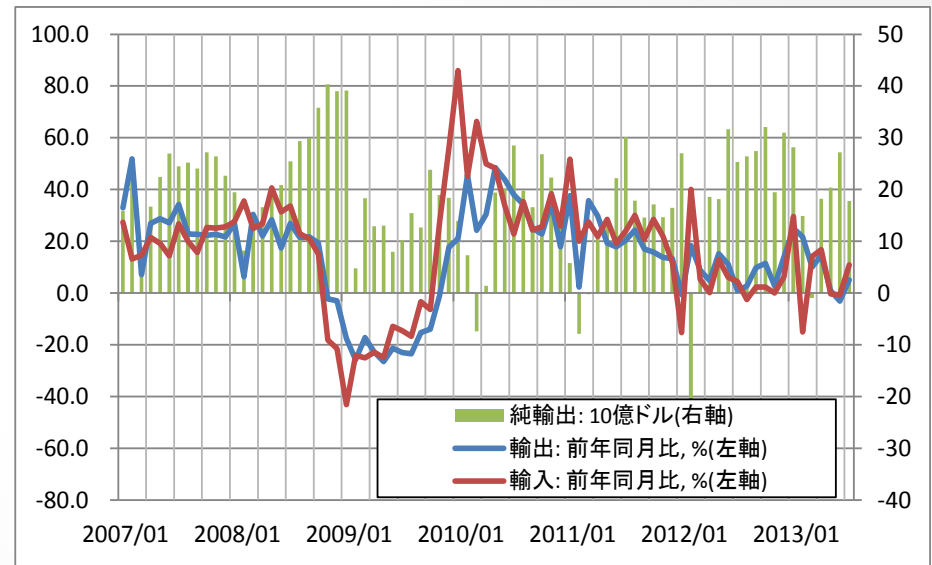
固定資産投資 (2013年7月まで : %) (累計伸び率)



出所：中国国家统计局;CEICデータベース

- 1-7月期における固定資産投資(名目)は前年同期比+20.1%となったが、前期(1-6月期)から横ばいである。
- 産業別の伸びを見れば、第1次産業は同+32.8%、第2次産業は同+16%、第3次産業は同+23.1%となった。

中国の輸入・輸出(2013年7月まで; 前年同月比)



出所：中国労働市場情報観測センター;CEICデータベース

- 7月に中国の輸出額は前年同月比+5.1%(確報値、ドル・ベース)となり前月(-3.1%)からプラスに転じた。
- 輸入額も同+10.9%(確報値)となり前月(同-0.7%、確報値)から回復した。
- うち日本からの輸入額は同-9.6%(確報値)となり、前月(同-16.3%)に比してマイナス幅は縮小したが、対日輸入は2011年4月から減少傾向にある。
- 中国の純輸出は、178.2億ドルとなり、前年同月比-29.6%となり、2カ月連続のマイナス。